

MIN-ON ブリリアント・コンサート

雪村いづみ&前田憲男

「歌こそ、わが愛」



空前のジャズ・ブームに沸き、ラテン、シャンソン、カンツォーネ、ロカビリー等のヒットソングが、新鮮な驚きとともに受け入れられた昭和の時代。抜群の歌唱力とチャーミングな容姿で、ひとときわ輝きを放ち愛された国際派ポピュラー・シンガー、雪村いづみ。そして、日本が誇るジャズ界の重鎮、前田憲男。二人の、ツアーとしては初めてとなる、まさにスーパー級のジョイント・コンサートが実現。雪村いづみにとって、歌手生活の集大成となる、渾身のステージをお届けします。

雪村いづみは、1953年「思い出のワルツ」でレコード・デビュー。その後、ダイナ・ショアのヒット「青いカナリヤ」、エディ・フィッシャーの「オーマイパパ」等、今でいう“カバー”ソングを数多く紹介し、わが国に定着させた先駆的ヒロインの一人です。

55年から、美空ひばり、江利チエミとともに“三人娘”と謳われ、映画やテレビで大活躍。アメリカ・ツアーを成功させ、61年、LIFE誌国際版の表紙を飾るほどに注目を浴びました。70年代は国内の音楽祭でグランプリを受賞し、芸術祭大賞受賞ほか、映画出演や画家としての才能を発揮し、多方面での活動でも知られてきました。

前田憲男は、50年代後半よりジャズ・ピアニスト、編曲家、指揮者として頭角を現し、テレビなど幅広い分野で長きにわたり活躍。ジャズ界の最高位に値する南里文雄賞を受賞し、常にシーンをリードしてきました。80年には国内屈指、最高のジャズ・プレイヤーばかりを結集し、ウインドブレイカーズを結成。30周年を迎えた今も、鋭意活動中です。

今回の特別コンサートは、作・編曲家として無類の存在感を示す前田憲男が、全曲新たなテイストを加え、雪村いづみの円熟の歌声を完璧なまでに引き立てます。演奏陣には、前田憲男のピアノほか、ベースに加藤真一、ドラムスにミルトン富田と、シンプルにして研ぎ澄まされたトリオがあたります。

彼女のヒット曲はもちろん、亡き“三人娘”の江利チエミ、美空ひばりのナンバーもとりあげます。また、メッセージソングの元祖と称される前田憲男作曲の「約束」も、聴きどころのひとつ。

雪村いづみにとって長年の夢だったという、最も敬愛する前田憲男との共演は、互いの思いと息がぴったり合い、珠玉の稀少なひとときを紡ぎ出してくれることでしょう。

出演者 雪村いづみ、前田憲男(ピアノ)、加藤真一(ベース)、ミルトン富田(ドラムス)

予定曲目 青いカナリヤ、オーマイパパ、テネシーワルツ、川の流れるように、約束、他

予定開催地域 柏、川崎、横須賀、越谷、春日部、八王子、市原、相模原、岡崎、豊橋、他